

第7次南知多町総合計画策定の経緯

～「わかりやすい」「つかう」総合計画にするためにみんなで踏み出す第一歩～

「わかりやすい」「つかう」総合計画

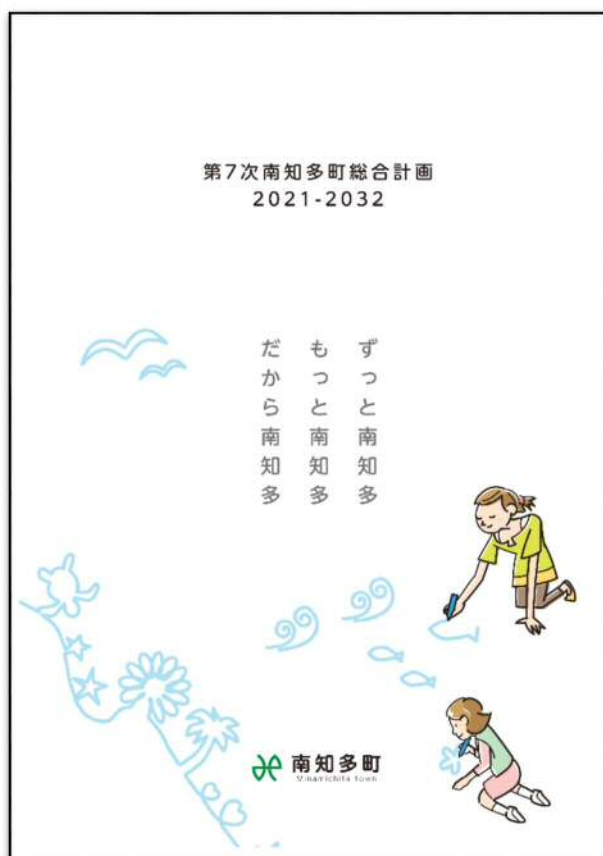
○南知多町では、町全体が一丸となってまちづくりに取組んでいくため、なるべく多くの方に関わってもらえるよう「わかりやすい計画」「つかう計画」であることを最も重要視して策定を進めてきました。

本冊子は、令和元年度、令和2年度の2年間にわたる策定までの経緯を別冊としてまとめたものです。

○町内の公的団体等の代表者及び知識経験を有する者としてご推薦いただいた方及び一般公募により選出された20名の委員により構成される諮問機関「総合計画審議会」を開催し策定を進めてきました。

○さらに、多くの方に町政（まちづくり）に参加していただけるよう、また、本町の未来について考えるきっかけとしてもらえるよう町民意識調査モニター及び町内の中学生を対象とした「町民意見交換会」を町内5地区で開催し、町民のみなさんと一緒にキャッチコピーを考えました。

○策定にあたっては、新型コロナウイルスの感染拡大の中でも歩みを止めることなく広く町民意見の把握に努め、パブリックコメントや町民意識調査を実施しました。



目 次

1. 南知多町総合計画審議会.....	1
(1) 南知多町総合計画審議会について.....	1
(2) 南知多町総合計画審議会委員名簿.....	1
(3) 審議の経過.....	2
(4) 審議会委員からのメッセージ.....	4
2. 住民意見交換会.....	7
(1) 目的.....	7
(2) 開催概要.....	7
(3) 各地区の意見まとめ.....	9
(4) 開催後の取組.....	13
3. 総合計画の推進体制.....	16
(1) まちづくりの仕組みの整備.....	16
(2) 作業部会.....	16
(3) 本部会議（幹部会）.....	16
(4) 調整会議（部課長会）.....	16
4. パブリックコメント.....	17
(1) パブリックコメントの実施概要.....	17
(2) パブリックコメント結果.....	17
5. 町民意識調査.....	17
(1) 町民意識調査の実施概要.....	17
(2) 職員意識調査の実施概要.....	17

1. 南知多町総合計画審議会

(1) 南知多町総合計画審議会について

「南知多町総合計画条例」に基づき、町長の諮問に応じて総合計画を調査審議し、その結果を町長に答申する組織です。

審議会の委員は、公共団体の代表者、知識経験を有する方、町内在住で公募いただいた方等により、20名で構成されています。

(2) 南知多町総合計画審議会委員名簿

(敬称略・50音順)

役職	氏名	所属	備考
	池戸 義久	教育委員代表	
	伊藤 恵子	男女共同参画人材育成セミナー修了者	
	大塚 智之 栗本 秀樹	金融機関代表	人事異動により、 第4回から引継ぎ
	岡田 濃	愛知県市町村課	
	桂木 繁功	南知多水産振興会代表	
	齋藤 慎也	ウミひとココロ代表	
	酒井 友之	商工会代表	
	澤田 晟	自主防災代表	
	秦 由岐穂	一般公募	
	鈴木 甚八	南知多町観光協会代表	
会 長	千頭 聡	日本福祉大学 国際福祉開発学部教授	
	辻 和幸	知多半島ケーブルネットワーク代表	
	辻 真理子	南知多町まちづくり協議会代表	
	中村 修見	民生委員・児童委員代表	
副会長	平山 康雄	区長連合会代表	
	宮本 邦彦	南知多プラスチック工業団地協同組合代表	
	山下 かず代	社会福祉協議会代表	
	山本 多恵	一般公募	
	山本 奈緒	一般公募	
	山本 比呂志	あいち知多農業協同組合代表	



(3) 審議の経過

○第1回

日時：令和2年5月8日（金）15時から17時

場所：南知多町役場大会議室

出席委員：20名

主な内容：

- ・委嘱状の交付
- ・会長、副会長の選任
- ・第7次南知多町総合計画（案）の諮問
- ・議題 ① 第7次南知多町総合計画策定方針及び素案
- ② 総合計画の進行管理
- ③ 住民意識調査（案）



○第2回

日時：令和2年7月20日（金）15時から17時

場所：南知多町役場大会議室

出席委員：17名

主な内容：

- ・議題 ① 第1回審議会意見への回答及び総合計画素案への反映
- ② 住民意識調査結果及び基本施策の数値目標
- ③ 住民会議及び概要版の作成方針



○第3回

日時：令和2年9月23日（水）15時から17時

場所：南知多町役場大会議室

出席委員：19名

主な内容：

- ・議題 ① 第2回審議会意見への回答及び総合計画素案への反映について
- ② 住民意識調査結果及び基本施策の数値目標について
- ③ パブリックコメントの実施及びパブコメ前総合計画（素案）について
- ④ 第0期アクションプランの構成案について
- ⑤ 意見交換会の結果及び意見の反映について

○第4回

日時：令和2年11月9日（月）14時から17時

場所：南知多町役場大会議室

出席委員：15名

主な内容：

- ・議題 ① これまでの審議会の経緯及び第4回審議会の進め方について
- ② パブリックコメントの結果について
- ③ 第7次南知多町総合計画（素案）の修正について
- ④ 第7次南知多町総合計画の策定答申案について

○第4回（臨時審議会）

日時：令和2年11月16日（月）15時から17時

場所：南知多町役場大会議室

出席委員：12名

主な内容：

- ・議題 ① 第7次南知多町総合計画（素案）の修正について
 - ② 第7次南知多町総合計画の策定答申案について
 - ③ その他（第0期アクションプラン案・スタートブック（概要版）案・町民意識調査結果）
- ・答申



○第5回（予定）

日時：令和3年3月19日（金）15時から17時

場所：南知多町役場大会議室

出席委員：16名

主な内容：

- ・議題 ① 第0期アクションプラン案の模擬評価
- ② 令和3年度町民意識調査案
- ③ 第7次南知多町総合計画冊子の配布

(4) 審議会委員からのメッセージ

○「絆・選ばれる理由があるまち」に近づこう、南知多町がどのようなまちになっていくことを期待しますか？

水産物が安定的に生産・供給され、活気あふれる漁港であり続けるために、水産資源の持続可能な漁場を守っていただきたい。また、後継者や新規就業者が働きやすい環境や生活環境が整った町。

桂 木 繁 功

「ずっと笑顔で住みつづけれる南知多」、「もっと住民に魅力を発信できる南知多」、「だから安心して暮らせる南知多」となるよう、また「やっぱり帰ってきてよかった南知多」、「そしてこれからも南知多」と皆が思えるまちとなるよう期待します。

山 本 比 呂 志

南知多町の産業に大きく占めている観光・水産関連業の発展が、選ばれる南知多町に必要であると思います。海に囲まれた南知多町の良さを町及び各種団体が共有し推進する事を期待します。

酒 井 友 之

南知多町の漁業、観光の復活なくして南知多町が選ばれる町にならないので、漁業においては、役場、漁協等が知恵を出して漁業者の経営環境を改善し、観光においては、一般的に知られていない名所・旧跡や特産品をSNSで情報発信して集客を図り、活気のあった昭和時代の南知多町になっていくことを期待する。

宮 本 邦 彦

観光業者の立場で言わせて頂きますと、南知多町を訪れるお客様がどんな状況なのか気になります。姉妹市町村を訪れて感じる事は、わが町は風光明媚で住みやすい町だと思います。昔は漁業も水産加工業も活気があった。最近では農業漁業を体験型に転換させ、農業者、漁業者と協力して観光客誘致が出来たら良いと思います。

鈴 木 甚 八

町民一人一人の強みを足し算できるような街にしていくが必要だと思います。また、町民自身がわが町を、自信を持って誇りとともに語れるように、子どもの時から地元愛を育むようにして下さい。

千 頭 聡

行政が計画した実施事業を的確に実現させること、その事業に対して町民がいかに関心できるか、行政、町民が協働で進める必要があると思います。

平 山 康 雄

南知多町での生活が豊かで充実したものであると住民は実感し、町外の人はその暮らしぶりに共感するようなまちであってほしい。住民と行政が、未来を信じてともに協力して地域課題に取り組む町であってほしいです。

辻 眞 理 子

環境豊かな地域の価値を生かす。財産は活用で価値が上がる。価値の追求を図り、遊休地の放置状態が減少、相乗効果による価値の共創、町の財産・公共物の活用度も上がり、住民の主体性による運営が行われる町。

澤 田 晟

昭和36年に3町(内海・豊浜・師崎)2村(篠島・日間賀島)が合併して誕生して60年。現在、小中学校適正規模・適正配置を検討しているが、町民が各地区の特性を活かしながらも町が一つになれるよう期待したい。

池 戸 義 久

「南知多町で暮らし続けるまち」の実現のために、住民と行政が協働で取り組むことができる町であってほしい。

伊 藤 恵 子

今回のまちづくりのキャッチコピーをたくさんの人に覚えてもらい、一緒にまちづくりを進めていくため、住民を巻き込んでいくこと。そのため、活動の情報を知らせる方法、活動を始めるために相談できる仕組みや使える場所などを整備・周知すること。

中 村 修 見

町内にいて、子どもたちの声が聞こえないことは非常にさみしいことです。

少なくなる子どもたちではありますが、できるだけ住民同士、あらゆる世代で自然に声が掛け合えれば安心して住みたいまちになると思います。

山下 か ず 代

漁業や農業環境など、自然のインフラは整備されているため、就業支援強化など、その先に具体的な生活プランが思い描ける計画が必要ではないかと感じます。いかに、選ばれ、実際に来町してもらえるか、空き家などの整備や、効果的な誘致PRの検討も必要だと思います。

辻 和 幸

変化を恐れず踏み出す勇気と覚悟があり、新しい考え方や価値観に柔軟に対応できるしなやかさを持つ町。有形無形に関わらず、「南知多」であることに自信と誇りを持てる町になって欲しいと思う。

齋 藤 慎 也

海産物、観光など町外へアピールできる材料は十分あると思います。人口減少は短期的に解決が困難な問題と思いますが、役所の方々が住民・事業者をひとつにまとめ様々な取組みを町内外へ発信していくことを望みます。

栗 本 秀 樹

「ずっと南知多 もっと南知多 だから南知多」の思いを町民の方々が分かち合い、「南知多町がとるべき戦略」を踏まえた事業展開を通じ、安心して暮らし続けられるまちとして更に発展されることを大いに期待します。

岡 田 濃

少子高齢化が急速に進む南知多において、子どもや若い方が多少の不便があっても、南知多町に定住したいと思わせるまち。そして、町の発展に尽力してきた高齢者の方達が安心して余生を過ごせるまちであってほしい。

山 本 多 恵

新しい価値観を受け入れ門戸を開き、核家族、単身者、移住者など、地域との繋がりが決して太くない町民も取りこぼさず、多様な生き方を認めて尊重できるやさしい町になってほしいです。

秦 由 岐 穂

すでにある絆や魅力を手放すことなく、将来に不安のない、豊かな暮らしを望める街に。若い世代に活躍の場があり、活気のある町に。

山 本 奈 緒

○「これから南知多町のまちづくりにどのように関わっていきたいと思いますか？」

漁協も水産業者と商工会、地元観光業者と連携し、魚介類の積極的な使用を促し、地産地消による魚介食の普及を目指したい。

桂 木 繁 功

地産地消で南知多町の農業を守り、町の活性化につなげるとともに環境・文化・福祉への貢献を通じて老若男女が安心して暮らせる豊かな町となるように関わっていきたいと考えます。

山 本 比 呂 志

地域商工業者の発展が、南知多町のまちづくりに重要です。商工会は、商工行政と協働し町のまちづくりに、貢献していきたいと思っています。

酒 井 友 之

南知多プラスチック工業団地として、南知多町のまちづくりに協働・共創でバックアップしたいと思います。

宮 本 邦 彦

南知多町は県下1位の漁協があるが、水揚げされる魚介類は年々減少が目立つ。気候変動の影響もあるが、取る漁業から育てる漁業も必要だと思っている。行政の実施する事業に町民が理解納得してもらえるといいと思います。

鈴 木 甚 八

町民ではないので、外から見守る部分が多いとは思いますが、町外者としての視点から、必要に応じてどんどんとまちづくりに発言していきたいと考えています。

千 頭 聡

行政の行う実施事業に協力し、現場にどんな課題があるか意見を行政に届けられたらと思います。

平 山 康 雄

南知多町から発信される情報に関心を持ち、自分で出来ることは実践していきたいです。また清掃ボランティアは継続して参加し、環境問題に関心を持ち続けたいです。

辻 眞 理 子

安心・安全、心の豊かさを生み出す環境の発掘を通じて、特に自然との共生としての場づくりをする。名所・名物の美化活動を通じて憩いの場と災害対策の融合による価値の創出に関わっていきたい。

澤 田 晟

仕事柄、他地域から訪問され方が多く、また講演や講習等で県外に出張する事も多いので、パンフレット等を持参して温暖な気候と自然景観の「太陽と海と緑豊かな南知多」をこれからも宣伝し続けたいと思う。

池 戸 義 久

行政に関心を持ち続け、私に出来ることで、地域貢献していきたいと思います。

伊 藤 恵 子

例えば SDGs のような世界の動き意識におきながら、身近な暮らしの中でできること。家にいてできること。リサイクルの実行、定期健診の受診等。家の外でできること。公園花壇の手入れ、近所付き合いを大切に、子どもへの声かけや高齢者の見守り等を見つけ、地域の人たちと力を合わせて取り組んでいきたい。

中 村 修 見

南知多町で生まれ育ちここで生涯を終える予定です。南知多町に住んでよかったと思えるよう、明るく元気な地域にできるようにできる範囲でできることがあれば協力したいと思っています。

山 下 か ず 代

次世代を担うこどもたちの手本となる行動に心がけ、自身のこどもにもこの町の良さを語り掛けていきたいです。また、地域CATV会社の一員として、町の取り組みを取材し、発信していくことは継続的に行って参りたいと思います。

辻 和 幸

「まちづくり」は「ひとづくり」。南知多町のアップデートに遅れをとらぬように、私自信もアップデートしていきたい。出来ることなら南知多町の半歩前を歩き、新しい風を送りこめるように成長し、南知多町へ貢献できれば幸いです。

齋 藤 慎 也

当金庫は、「夢サポート」「クラウドファンディング」「よろず相談」などの支援事業があります。また、同町内には3つの支店を有していますので、是非、住民、事業者の皆様方にご活用いただければと思います。

栗 本 秀 樹

どのような形であれ、町の発展に多少なりとも貢献できればと思います。

岡 田 濃

空き家バンクの仲介業者という仕事で、他地域からの移住者を増やしたい。また他の地域に比べ、各所でまだ男性主体が多い南知多町で、子育てをしている女性としての視点で何か関わることができれば嬉しい。

山 本 多 恵

まちづくりへの関わりに消極的な方々とも一緒に取り組んでいけるように、核家族、単身者、移住者の方々の声を聞き、それを届けられるよう、人と人との間に入って人を繋いでいけるような取り組みをしていきたいです。

秦 由 岐 穂

まず、関心を持ち続けるということ。審議会委員をさせていただいて何度も町の発信している情報を確認する機会があったが、今後も続けていこうと思う。また身近な人に情報を繋げ、関心をもってもらうことも、南知多町のまちづくりにおいて重要かと思っています。

山 本 奈 緒

2. 住民意見交換会

(1) 目的

第7次南知多町総合計画は、作って終わりではなくその後も様々な場面で活用される計画とするため、「わかりやすい計画」「つかう計画」ということを重視して素案を作成しました。

この新しい計画を、町民の方に幅広く知ってもらうとともに、これからの12年間の計画の使い方や町政に住民意見を反映する仕組みについて理解を深めていただくため、住民参画の取り組みの一つとして、意見交換会を開催し、住民の方々の意見を募りました。

(2) 開催概要

町内5地区で意見交換会を開催し、参加者の内訳は以下のとおりでした。

① 開催日時・及び場所

地区	開催日	開催場所	参加人数	内訳		
				モニター	中学生	一般
豊浜	9月1日(火)	南知多町役場	17	8	4	5
内海	9月2日(水)	内海防災センター	14	5	8	1
日間賀	9月3日(木)	日間賀島公民館	13	6	4	3
篠島	9月4日(金)	篠島開発総合センター	15	2	0	13
師崎	9月8日(火)	JAみさき支店	17	5	4	8



豊浜地区



内海地区



日間賀島地区



篠島地区



師崎地区

② 開催内容

第1部 イン트로ダクション

総合計画とはどのようなものか、第7次総合計画はどのようなコンセプトで策定を進めているかについてプレゼンテーションを行いました。

第2部 意見交換会

総合計画の概要版（素案）等を題材にして、以下の内容についてワークショップ（グループワーク形式で意見交換）を行いました。

<ワークショップテーマ>

○住民参画についてイメージができますか？

概要版（素案）を事前にお配りし、デザインや内容がわかりやすいか、わかりにくいか及びその理由について意見交換を行いました。

○このまちのために私たちができること

南知多町で一番好きなものを挙げていただくとともに、それに対して住民の方ご自身がどんなことに取り組みたいもしくは取り組むことができると考えているかについて意見交換を行いました。

○総合計画のキャッチコピーを考えよう

総合計画を手に取りやすく、親しみやすくするためのキャッチコピーについて住民の方からアイデアを募集し、地区ごとの代表案を選定しました。



(3) 各地区の意見まとめ

○このまちのためにできること

この町の好きなところ（好きなところのために自分たちができること）

・ 豊浜地区

友達

（困っているとき悩んでいるときに力になってあげる／一緒に飲み会をする／ぐちを言い合う）

海

（SNS で共有する／ゴミ拾いをする／ゴミを出さない生活をする）

魚

（たくさん食べる／地産地消／地元の飲食店を利用する／PRする）

ひまわり

（各所等をSNSで発信する）

鯛祭り

（積極的に友達と参加する／祭り後にあるボランティアに参加する。）

住民、人とのつながり

（イベントにたくさん参加する／積極的に挨拶や会話をする）



・ 内海地区

農産物・魚

（持続可能な農業に取り組む／食べ物を大切にする／レシピを発信する／農場見学や援農受入れする）

豊かな自然・海・里山

（砂浜に落ちているゴミを拾う／きれいな海など写真を撮り、自然の豊かさを多くの人に共有する）

食べ物

（地元の子どもたちに農産物を食べてもらう工夫をしたい／一人でも多くの人に南知多のおいしい食べ門を食べてもらう）

暮らし・住民

（住民と会ったら挨拶をしてよい関係を築く）



・日間賀島地区

自然

(ゴミを拾う・捨てない
／草刈りをする／きれいな
景色・風景アルバムを作る
／写真を撮りためて紹介する)

食

(四季折々においしい食べ
物があるので、友人に食の
プレゼントをする／SNSで
発信する／もっとブランド
化する)

人・子ども

(楽しい学校をつくる／
自ら挨拶をする／助け合
う／将来的に国内の子ど
もたちを受け入れる＝交
換留学)

観光

(島全体を盛り上げる／
自分が幸せでいる／特産
品を拾える／将来的にホ
ームステイの受け入れを
する)



・篠島地区



自然・景色

(ゴミを捨てない・ゴミ
を拾う／草刈りをする／
自慢する／夕日を眺め
る)

人・子ども

(子どもを地域で育てる／
挨拶をする／いろいろな付
き合いの「輪」に参加する
／どこの子どもでも面倒をみる
／こどもが祭りに参加する
仕組みを作る)

・師崎地区

食べ物

(地産地消する／友人に
PRする／「いただきます
」をきちんとという)

方言

(しゃべり続ける)

自然

(ゴミを捨てない
拾う／植林活動をする/
魚をとりすぎない)

人

(町民・区民が参加する
行事に参加する／話しか
けてくれたときに、やさ
しく返事をしたり大金垂
声であいさつする)

歴史・祭り

(参加する／歴史をもっ
と知る機会が欲しい／見
る人や参加する人を増や
す)



○総合計画のキャッチコピー

・豊浜地区

豊かな自然
もう一度行きたいまち

ウミヒトミライのまちづくり



「やっぱり南知多！！」
って言われたい

太陽と海と観光の町

・内海地区

しあわせ満ちた！
南知多！



太陽と汗が輝くホワイトビーチ

自然を愛し
自然に愛される

・日間賀島地区

あふれる幸せ
感じらまい

南知多 Future !

子どもたちが誇れるへ



・篠島地区

取扱説明書
(トリセツ)

※5地区それぞれの人の
顔写真を表紙に掲載

遊ぼう暮らそうみなみちた

美味いぞ！見たいぞ！
南知多！！



・師崎地区

愛と自然の南知多！
それいけ！
素晴らしい町へ！

子育てサンサン南知多

笑ってええがね南知多

まっとええまち南知多



(4) 開催後の取組

① 概要版（素案）の修正について

意見交換会でいただいた意見を反映し、概要版（素案）をより見やすく、わかりやすいものに修正を行いました。

② キャッチコピーの案について

意見交換会で各地区からいただいたキャッチコピーの案と、これまでのキャッチコピー（太陽と海と緑豊かなまちづくり）及びインターネットで公募のあったものから事務局で選定した1案を加えた計7案でインターネット投票を行い、新キャッチコピーを決定しました。

③ キャッチコピーの決定

住民投票の結果、決定したキャッチコピーは、前期計画の期間である4年間、使用していきます。

<キャッチコピー>

ずっと南知多 もっと南知多 だから南知多

<込められた想い>

この町で生まれ育った人にも、観光で訪れる人にも、これから移り住もうとする人にも、南知多町を選ぶ理由がある。

<キャッチコピーの住民投票結果一覧>

キャッチコピー（案）	インターネット投票	紙投票	合計
ずっと南知多 もっと南知多 だから南知多	66	13	79
しあわせ満ちた！南知多	50	3	53
太陽と海と緑豊かなまちづくり	31	13	44
豊かな自然 もう一度行きたいまち	26	6	32
愛と自然の南知多！それいけ！素晴らしい町へ！	3	8	11
あふれる幸せ感じらまい	7	1	8
取扱説明書（トリセツ）	7	0	7
合計	190	44	234

＜キャッチコピー案に込められた想い＞

	キャッチコピー案	込められた想い
豊浜	豊かな自然 もう一度行きたいまち	この町の自慢である豊かな自然を感じてもらい、また南知多町へ行きたいと思ってもらえるまちであり続ける。
内海	しあわせ満ちた！南知多！	「幸せ」になるという言葉を使い、語感の良いキャッチコピーにしたい。そして南知多町に関わるすべての人の「幸せ」で満ちたまち。
日間賀島	あふれる幸せ感じらまい	町内全体の人がわかる方言を入れて親近感をもたせたい。みんなでまちづくりに参加してみんなで幸せを感じていきたい。
篠島	取扱説明書（トリセツ）	南知多町の今後のまちづくりについて書かれている説明書のようなものだから、ストレートにその部分を表現。 表紙に各地区の代表的な人の写真を掲載して、みんなの興味を惹く総合計画にしたい。
師崎	愛と自然の南知多 それいけ！素晴らしい町へ	自然の良さだけでなく、人の良さもアピールして、今よりもより素晴らしい町にしていく。
公募	ずっと南知多 もっと南知多 だから南知多	この町で生まれ育った人にも、観光で訪れる人にも、これから移り住もうとする人にも、南知多町を選ぶ理由がある。
現行	太陽と海と緑豊かなまちづくり	三方を海で囲まれ、自然環境と景観に優れた南知多町で昭和58年から総合計画で使われてきたフレーズ。

＜その他インターネット公募のあったキャッチコピー案＞

No.	キャッチコピー案	込められた想い
1	海 ひと 心 ずっと 住みたい、つながりたい。 みなみちた ええとこ！	海： 南知多の自然環境や恵みの象徴として表現 ひと： 南知多に住み、これからも支えてくれる人は人材であり、宝として表現 心： 南知多町民の心情の良さ、人情のあつさ、今よりもよくしたいと願う心持ちを表現 中段・・・これから未来も、町としてあり続けてほしいという素朴な願いを表現 下段・・・自分へ、まわりの人へ、そして、将来仲間入りしてくれる人へのアピール 町が力を入れて、取り組んでいく事業や施策の根底に込める思いや願いは、それぞれ単発で考えるばかりではなく、横断的にとらえたり、共有したりして、取り組むことも必要であると思う。現在、「ウミ ひと ココロ」事業が定着しているので、その精神も生かせるのではと思った。

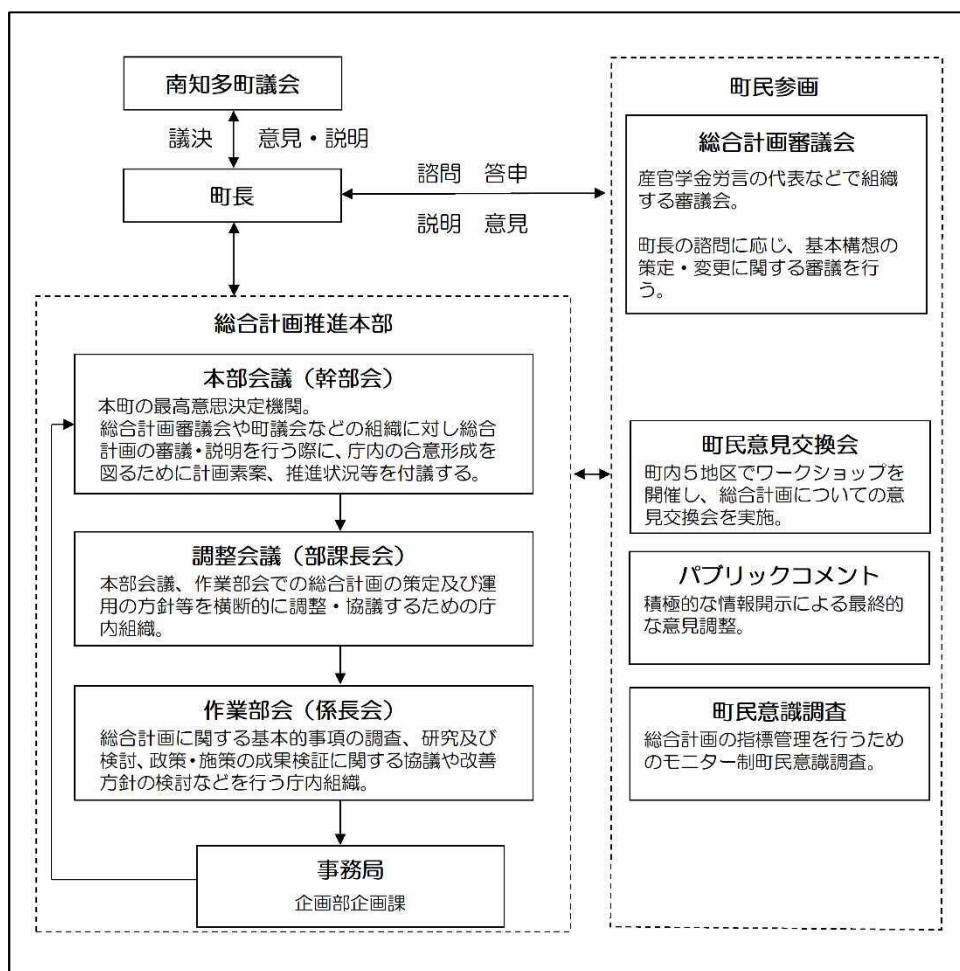
2	うねりを 明日へ 南知多を変えていく	「うねり」に、南知多を象徴する海の波、時代の変化をかけ合わせました。 2行目に、今、そして、これからに 必要なまちづくりへの覚悟を込めました。
3	かだいがある。 だから すすむ、みなみち た	まちづくりに向けて、現状認識を見据えて、取り組む思いを 込めました。
4	一緒にやる！みらいをつく る みなみちた	南知多の未来について 共に夢を語り、知恵や考えを共有し、協働していく、そんな元気 な老若男女のいるまちづくりが願いです。
5	この場所から笑顔の未来を 創造する。	この場所から未来を創造する。 町の面影、歴史を残しながら時代のニーズと共に町は、変化し続ける。 笑顔あふれる南知多町に「住みたい！」「遊びに行こう！」と思われる未来を創造してい く様をキャッチコピーにしました。
6	み みらい 見つけよう！ な なかまと つくろう！ み 魅力さがし ち ちた 先端には た たからものいっぱい	南知多の「過去」「現在」「未来」を見据えて、 みなみちた を「あいうえお」作文風に 表してみました。
7	幸多く 活気溢れる まち づくり	我が町は、海の幸、山の幸が豊富で、南知多と言う文字の中にも、幸が見えます。幸に縦 線二本加えれば南になります。行政と地域が共に幸せを支え合っているようで幸多くとれ ました。しかしながら、若い人が地元を離れ、人口が減少し、このままでは、寂れて行く 一方でもっと活気溢れる町になるよう思い込め、このようなキャッチコピーを考えまし た。
8	どうなる？ こうしよう！ 南知多	まちづくりについて、誰でも興味を引くようにわかりやすく表現した。
9	ずっと南知多 もっと南知 多 だから南知多	この町で生まれ育った人にも、観光で訪れる人にも、これから移り住もうとする人にも、 南知多町を選ぶ理由がある。
10	おいしい海 たすけ合う人 つながる心 笑顔になれる町へ	海の幸や釣りや海水浴で楽しめる海を活かして、人と人とが助け合いながら、いろんな思 いがどんどんつながっていき、みんなにとって笑顔溢れる町になれるように。
11	す く ら む 住・食・楽・夢 みなみち た	住 あたたかい人と豊かな自然 住んでよかったと言える町 食 海の幸 畑のお野菜 食べものはどれも美味しい町 楽 お囃子 お祭り コンサート 楽しい時間が過ごせる町 夢 どんどん夢がふくらみ 育てられる町 これらを維持するには住んでいる人が、協力して時にはふんばって守ったり乗り越える事 も大切。「スクラム」でなく「すくらむ」やさしい連帯感をもって前に進みましょう！

3. 総合計画の推進体制

(1) まちづくりの仕組みの整備

総合計画により向かうべき方向性を共有し、町が一体となってまちづくりが行えるよう、計画の推進体制、内部審査の実施体制、町民参画（町民意識調査、評価委員会）の仕組みを整えました。

【総合計画推進体制図】



(2) 作業部会

第6次南知多町総合計画を評価・分析したうえで、総合計画素案を策定し、さらに審議会、意見交換会、パブリックコメントの意見を素案へ反映させるため、作業部会を2年間で24回（毎月1回）開催しました。

(3) 本部会議（幹部会）

作業部会で決定した運用方針や審議会での審議結果を付議し、また意見交換会、パブリックコメント結果等の進捗状況を報告するため、作業部会後に2年間で24回開催しました。

(4) 調整会議（部課長会）

本部会議、作業部会で決定した運用方針等を横断的に協議し、また意見交換会、パブリックコメント結果等の進捗状況を報告するため、本部会議後に2年間で24回開催しました。

4. パブリックコメント

(1) パブリックコメントの実施概要

- 募集期間：令和2年10月1日（木）から14日（水）まで
- 周知方法：町HP及び広報への掲載、住民メール、Facebook、Twitterによる配信。
- 意見提出方法：町HP、郵送、役場への投票箱への設置
- 意見提出者：21名
- 提出意見数：63件
- 意見への対応：提出いただいた意見については、総合計画審議会で審議したうえ、回答の作成、総合計画への反映を行いました。

(2) パブリックコメント結果

- 別紙「パブリックコメント結果」のとおり



5. 町民意識調査

(1) 町民意識調査の実施概要

- 回答期間：令和2年6月1日（月）から30日（火）まで
- 対象者：各団体等が推薦又は一般公募によるモニター
一般回答者
役場職員
- 周知方法：郵送、町HPへの掲載、住民メール、Facebook、Twitterによる配信。
- 回答方法：郵送、町HP上の回答フォーム
- 回答者：モニター 100名
一般回答者 9名
役場職員 146名
- 回答結果：別紙「町民意識調査結果」のとおり

住民意識調査(モニター調査)結果について

(2) 職員意識調査の実施概要

- 回答期間：令和2年6月1日（月）から30日（火）まで
- 対象者：役場職員（出向中の職員は除く）
- 回答方法：町HP上の回答フォーム
- 回答者：役場職員 139名
- 回答結果：別紙「職員意識調査結果」のとおり

職員意識調査結果について

